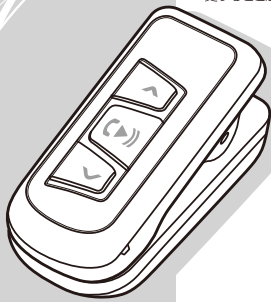
090915

SEIWA®
http://www.seiwa-c.co.jp
s-i-n-c
Style of Interface to the Next Communication

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

※取り扱い説明書内のイラストは、製品の仕様変更により、実際の製品と若干異なる場合があります。
※デザイン及び仕様につきましては改良のため予告なしに変更することがございます。

SCMS-T対応

パスキー:0000

BT 300

Bluetoothステレオレシーバー

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用の前に本書(取扱説明書)及び接続するBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

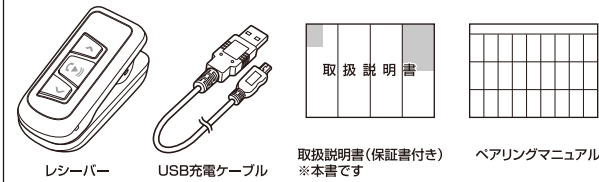
1 はじめに

●本書ではボタンの押し方を以下のように矢印で示しています。

短く押す	短く連続で押す	長押しする
例)短く1回押す	2 例)連続で2回押す	5秒 例)約5秒間長押しする

このマークのある機能/状況では、レシーバー本体からブザー音が鳴ります。ブザー音を鳴らなくすることもできます。(→「7.その他の便利な機能」参照)

セット内容の確認

●セット内容がすべてそろっていることを確認してください。

レシーバー　USB充電ケーブル　取扱説明書(保証書付き)※本書です　ペアリングマニュアル

安全にご使用いただくために

●以下の警告·注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告·注意に従われない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、接続する携帯電話機も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。

⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

右の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。	禁止 禁止(してはいけないこと)を示します。	指示 強制指示(必ず実行していただくこと)を示します。

⚠警告

禁止 **火の中に投下したり、高温(50℃以上)の環境下に保管、放置しないでください。**
レシーバーの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。お車のダッシュボードも、直射日光の下では高温となりますので、炎天下の車内への放置はやめてください。グローブボックス内も高温となる場合がありますので、長期間の車内への保管、放置もやめてください。

禁止 **濡らさないでください。**
濡れた手でUSBケーブルにさわらないでください。
レシーバーは非防水です。濡らしたり、雨、雪、霧などの状況下に屋外で使用しないでください。また、汗などで濡れている場合は拭き取ってから使用してください。水などが内部に入ると、火災、発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、強いショックを与えないでください。**
レシーバーの内蔵充電池を破裂、発火、発熱、漏液させる原因となります。

禁止 **分解、改造、後加工をしないでください。**
火災、感電、故障、けがなどの原因となります。また、レシーバーの内蔵充電池を破裂、発火、発熱させる原因となります。レシーバーの内蔵充電池は取り外したり、交換はできません。これらが起因する携帯電話機のトラブルに関して、当社は責任を負いかねます。
また、USBケーブルを分解·切断しての直接配線などは絶対にやめてください。

禁止 **自転車や自動車などの運転中に、ハンズフリー通話以外の目的で使用しないでください。**
交通事故の原因になります。

指示 **自転車や自動車などの車両運転中にハンズフリーの目的で使用する場合は、イヤホンを片方の耳にだけ装着して使用してください。**
両耳にイヤホンを装着しての車両の運転は「道路交通法」に違反します。インイヤータイプのイヤホンを使用し、必ず片方の耳(基本的に助手席側の耳)だけにイヤホンを装着して使用してください。ご使用にあたっては各都道府県や各地域の条例に従ってください。

禁止 **走行中の運転者による携帯電話及び接続機器の操作は絶対にやめてください。**
運転者による携帯電話及び接続したBluetooth機器の操作は事故などの原因となります。また、レシーバーの連続的な操作、取扱いも運転操作の妨げになりますのでやめてください。

指示 **歩行中に使用する場合は、交通状況に十分注意してください。**
交通事故の原因になります。特に、踏切やホーム、自動車の通道路、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険を伴う場所では使用しないでください。

禁止 **小さなお子様(乳幼児)やペットなどには絶対に与えないでください。**
小さな部品を飲み込むなど、事故のおそれがあります。

指示 **適度な音量で使用してください。**
不意に大きな音がすると、交通事故の原因や、聴力を損なうおそれがあります。

禁止 **USBケーブルのコードを傷つけたり、きつく結んだり、乱暴に扱わないでください。**
感電、発火、発熱、故障、断線、けがの原因となります。

指示 **電気製品または高周波無線機器の電源を切ることが定められている場所(病院、交通機関、一部の工事現場など)では、各施設の指示に従ってレシーバーの電源をオフにしてください。**

⚠注意

禁止 **極端な低温(0℃以下)での保管、放置はやめてください。**
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

禁止 **飛行機に搭乗する際は、搭乗前にレシーバーの電源をオフにして、機内では絶対に使用しないでください。**
運航に影響を及ぼすおそれがあります。

禁止 **USBケーブルを屋外や湿度の高い場所、高温または低温の状況下で使用しないでください。**
製品の故障や、性能を損ねるおそれがあります。

指示 **ポケットやバッグに収納するときは、レシーバーの電源をオフにしてください。**
スイッチ類が押されて、携帯電話が誤って発信をするおそれがあります。使用する際は、スイッチ類が押されないような位置に取り付けてください。

禁止 **クリーニングするときに研磨剤入りの溶剤は使用しないでください。**
レシーバーに傷がついたり、表面の塗装部がはがれるおそれがあります。

指示 **長期間使用しない場合は、携帯電話など接続機器とのペアリングを解除して、高温や低温を避け、乾燥したホコリの少ない場所に保管してください。**

指示 **プラグ類を抜く際は、ソケット/端子に対し必ず水平にゆっくり抜いてください。**
回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

指示 **レシーバーを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。**

禁止 **レシーバーのLED光源を直視しないでください。**
目の健康をそこねるおそれがあります。

対応プロファイル

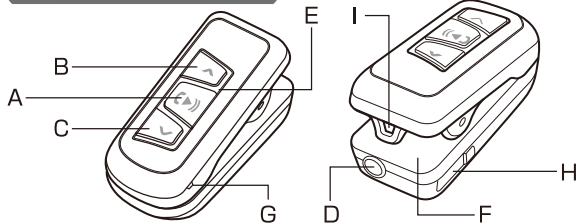
●HFP(Hands-Free Profile)/ハンズフリープロファイル
●HSP(Headset Profile)/ヘッドセットプロファイル
●A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)/高度オーディオ配信プロファイル(SCMS-T対応)
●AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)/オーディオ/ビデオ リモート制御プロファイル

商標について

●Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標です。
●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
●その他本文中に記載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

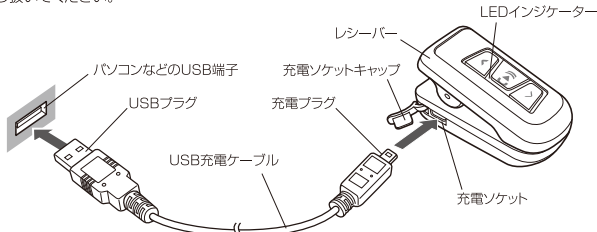
取扱い上のお願い

●Bluetoothとは、携帯情報機器向けの無線通信技術です。接続機器とケーブルを使わずにワイヤレス接続し、音声や音楽データなどをやりとりすることができます。また赤外線などと違い、機器間の距離がおよそ10m以内(本製品と同じ Class2 機器の場合)であれば障害物があっても利用することができます。(状況により異なります)
●本製品はBluetooth Version 2.1 +EDR に準拠、適合しておりますが、他のBluetoothバージョン内蔵機器との相互接続は、その互換性によることから保証しておりません。また、本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
●適合可能な携帯電話に関する情報については適合表にてご確認ください。
●接続する携帯電話の機種によっては、一部の機能、ボタン操作が制限される場合があります。
●仕様および外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますので、ご了承ください。
●本製品の使用中に起こった、メモリーダイヤル及びデータの消失や通信不能、機器の故障などの付随的保証は一切負いかねます。
●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や確実性が求められるシステムに関わる環境下では使用しないでください。
●本製品を含むBluetooth機器同士で通話をすると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
●必要以上に長時間(6時間以上)の充電はしないでください。
●充電ソケットキャップは製品保証の対象外とさせていただきます。
●レシーバーの内蔵充電池は消耗品ですので、充電池の劣化による通話/スタンバイ時間の短縮は製品保証の対象にはなりません。充分に充電しても使用時間が著しく短くなってきた場合は充電池の寿命ですので新しい製品をお買い求めください。(充電池の交換はできません。)
●使用しないときは、レシーバーの電源を切っておいてください。スタンバイ(電源オン)状態のレシーバーは、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

各部の名称

名称	機能·説明
A. メインスイッチ	電源のオン/オフ、着信応答/終話 に使用します。
B. UPボタン	主に 音量アップ、曲送り などに使用します。
C. DOWNボタン	主に 音量ダウン、曲戻し などに使用します。
D. ヘッドホン出力端子	φ3.5mmステレオミニジャックです。
E. LEDインジケーター	青色と赤色のLEDを搭載しています。レシーバーの状態を表示します。
F. 充電池(内蔵)	リチウムポリマー電池。充電池の交換はできません。
G. マイク	通話用マイクです。
H. 充電端子	USBケーブルの充電プラグを接続します。充電ソケットキャップ付きです。
I. ストラップホール	市販のストラップ(別売)などを取り付けできます。

2 充電する

･･･ 充電方法

●レシーバーには充電池が内蔵されています。使用前に充分に充電してください。
●はじめてご使用になるときは、満充電になるまで3時間以上充電する必要があります。
●充電には、必ず付属の専用USB充電ケーブルを使用してください。
※充電ソケットキャップを破損しないように注意してください。
※充電中以外は必ず充電ソケットキャップをはめてください。
※充電プラグには差し込み方向があります。充電ソケットと充電プラグの形状を確認してから接続してください。無理に差し込むと破損するおそれがあります。
※レシーバーを長期間使用していなかったり、充電池が完全放電した状態では、LEDインジケーターが点灯/点滅するまで時間がかかる場合があります。(数分かかる場合もあります)
※プラグ/コネクタを脱着する際には、必ずプラグ/コネクタの根元をしっかり持って、水平にゆっくり抜いてください。

●電源オン(スタンバイモード)で充電した場合と、電源オフで充電した場合とでLEDインジケーターの表示が異なります。

① USB充電ケーブルの充電プラグをレシーバーの充電ソケットに接続します。
② USB充電ケーブルのUSBコネクタをパソコンなどのUSB端子に接続します。

レシーバーの電源がオンの場合	レシーバーの電源がオフの場合
③ 充電中はレシーバーのLEDインジケーターが約8秒間隔で2回赤色に点滅します ④ 充電が完了すると、レシーバーのLEDインジケーターが約8秒間隔での2回青色点滅に変わります。(約3時間で満充電になります。)	③ 充電中はレシーバーのLEDインジケーターが赤色に点灯します。 ④ 充電が完了すると、レシーバーのLEDインジケーターが青色に点灯します。(約3時間で満充電になります。)

⑤ USB充電ケーブルのプラグとコネクタを抜いて、レシーバーの充電ソケットキャップをはめてください。

･･･ 充電時期の目安

●充電池容量が低下すると、LEDインジケーターが赤色点滅し、約1分間隔で短いビープ音が聞こえます。このような場合はお早めにレシーバーを充電してください。

3 ペアリング

･･･ ペアリングについて

●レシーバーをはじめてご使用になる場合、接続するBluetooth機器とペアリングする必要があります。
●ペアリングは接続するBluetooth機器ごとに設定方法が異なりますので、設定を行う前に必ず接続する機器の取扱説明書(Bluetoothの項目など)を参照してください。

携帯電話とペアリングする手順は右記を参考にしてください。

･･･ ペアリング待機モード

ペアリング待機モード
LED
青と赤の交互点滅
2秒or8秒
「ピー」

●レシーバーをペアリング待機モードにする

○レシーバーにペアリング履歴がない場合(購入直後など)
電源オフの状態からメインスイッチを約2秒間長押ししてください。

○レシーバーにペアリング履歴がある場合
電源オフの状態からメインスイッチを約8秒間長押ししてください。

LEDインジケーターが青と赤の交互点滅をします。(交互点滅は約3分間継続します。)
イヤホンからは「ピー」というビープ音が聞こえます。

●ペアリングが成功した場合

LEDインジケーターが5回青点滅し、イヤホンからは「ピ――」という長いビープ音が聞こえます。
その後、スタンバイモード(自動接続完了)になります。(→「5.基本操作」参照)

●ペアリングが失敗した場合

ペアリング待機モード約3分間の間にペアリングが成功しない場合は、LEDインジケーターが5回赤点滅して電源がオフになります。イヤホンからは「ピ――」という長いビープ音が聞こえます。

ヒント
付近に同じ製品が複数ある状況下ですと、「Sinc BT300」が複数表示されることがあります。また、周辺に他のBluetooth機器やワイヤレス接続のPCなどが多い環境では、検索されにくい場合があります。その場合は何回か繰り返しお試しください。ペアリングが成功しなかった場合は、再度ペアリングを試みると成功する場合があります。
接続するBluetooth機種によっては、はじめにBluetooth設定などを「オン」に設定する必要があります。
一度ペアリングを完了すれば、基本的にレシーバーの電源をオフにしてもペアリングの設定は残ります。電源をオフにした後、再度電源をオンにすると自動的に接続を行います。(機種によっては、ペアリング済みの機器を「Bluetooth接続待ち」などの状態にしたり、接続時に操作が必要な場合があります。)

･･･ マルチポイント

●本製品は同時に2台のBluetooth機器と接続が可能です。
●au及びノキア製携帯電話同士は同時にペアリングできません。
●au及びノキア製携帯電話は1台のみ、かつペアリングは2台目にしてください。
●A2DPにて接続できる(オーディオ機能を使用できる)のは最初に登録した1台のみです。
●2台のBluetooth機器をペアリングする場合は、以下の手順でペアリングしてください。
①1台目のBluetooth機器(au及びノキア製携帯電話以外)をペアリングしてください。
②2台目のBluetooth機器をペアリングしてください。
③1台目のBluetooth機器と再接続(ペアリングではありません。登録機器リストなどからの再接続です。)を行ってください。
●マルチポイントにて2台接続した状態でレシーバーの電源をオフにすると、レシーバーと最後に通信したBluetooth機器のペアリングだけが記憶され、もう1つの機器のペアリングが切れてしまう場合があります。その際は、次回使用時に上記の②から再度設定してください。
●1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合、メインスイッチを短く1回押すと、現在の通話を終了して別の電話の着信を受けることができます。
※1台の携帯電話で通話中に別の携帯電話に着信があった場合、LEDインジケーターが点滅し、着信音が1コール鳴ってお知らせします。

保 証 書

090915

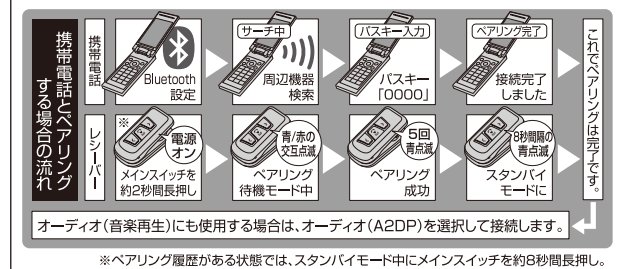
お客様相談センター
本製品に関するお問い合わせは… ☎047(420)0755
受付時間/AM10:00～PM6:00 月曜日～金曜日(祝日休業)
〒273-0023 千葉県船橋市南海神1-2-5

発売元
株式会社 セイワ 〒134-0092 東京都江戸川区一之江町3000番地

セイワホームページのご案内(右のQRコードでもOK)
適合情報や、新製品情報などが掲載されておりますので、
インターネットをご利用の方は、ぜひご覧ください。
http://www.seiwa-c.co.jp

･･･ 携帯電話とのペアリング手順

●以下の手順は概略的なものです。同梱の「ペアリングマニュアル」に一部の携帯電話機種の機種別設定方法を記載しておりますので参照してください。また、接続する携帯電話の取扱説明書「Bluetooth」の項目も必ずお読みください。また、「ペアリングマニュアル」に記載のない機種につきましては、弊社ホームページまたは弊社お客様相談センターにお問い合わせください。(上記を参照)

① レシーバー(電源オフ)と携帯電話(Bluetooth対応機種)を手元に準備します。
② 携帯電話のメニューからBluetoothを選択します。
主なdocomo機種の例　:「メニュー」→「LifeKit」→「Bluetooth」
主なau機種の例　　　:「メニュー」→「アクセサリ」→「Bluetooth」
主なSoftBank機種の例:「メニュー」→「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」
③ レシーバーをペアリング待機モードにします。(以下手順⑦までをペアリング待機「モード中に完了してください。)
レシーバーにペアリング履歴がない場合　:メインスイッチを約2秒間長押し
レシーバーにペアリング履歴がある場合　:メインスイッチを約8秒間長押し
④ レシーバーのLEDインジケーターが青と赤の交互点滅になります。(約3分間継続します。)
⑤ 携帯電話で周辺機器の検索(サーチ)をします。
例:「Bluetooth」→「ON/OFF設定」→「周辺デバイス検索」
⑥ 携帯電話の画面に表示された検索リストの中から、ご使用になっている「Sinc BT300」を選択します。
⑦ パスキー「0000」を入力します。(登録は「ハンズフリー」で行ってください。)
パスキー入力前に「携帯電話の端末暗証番号」を入力する機種があります。端末の暗証番号とパスキーは異なりますのでご注意ください。端末の暗証番号は、あらかじめ決められた番号もしくはお客様が設定した番号です。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
⑧ レシーバーのLEDインジケーターが5回青点滅し、ペアリングは完了です。
その後、レシーバーはスタンバイモード(LEDインジケーターが約8秒間隔の青点滅)になります。
⑨ 続けてオーディオ(音楽再生)にも使用する場合は、オーディオ(A2DP)を選択して接続します。
例:「選択」→「オーディオ(A2DP)」→「接続」
以上で「ハンズフリー(HFP)」と「オーディオ(A2DP)」の接続が完了です。
携帯電話をメインメニュー(待ち受け画面)に戻してください。

※ペアリング履歴がある状態では、スタンバイモード中にメインスイッチを約8秒間長押し。

ヒント
接続する携帯電話の機種によっては、はじめにBluetooth設定を「オン」に設定する必要があります。
接続する携帯電話の機種によっては、自動的にA2DPで接続される場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書に従った正常なる使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買い求めの販売店、または弊社にて無料で交換または修理いたします。

2. 保証期間内でも、次の場合は有料交換・修理になります。
   ①お買い求め後の輸送、移動時の取扱いが不適切なために生じた故障・損傷
   ②誤用・乱用および取扱い不注意による故障・損傷
   ③不当な修理または改造による故障・損傷
   ④火災、地震、水害その他の天災地変および異常電圧・指定外の電源使用による故障・損傷
   ⑤保証書のご提示がない場合（レシート添付の場合は除く）、あるいは字句を書き換えられた場合
   ⑥『日本国内にて販売されている、日本国内の携帯電話事業社用携帯電話』以外の携帯電話を使用した場合の故障・損傷
   ⑦取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の、故障・損傷

3. 保証期間はご購入日から6ヶ月とします。

4. 本製品の保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

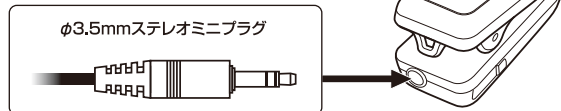
5. 本製品の保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

6. 本製品の保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※この裏面に保証書が印刷されています。

4 イヤホン/ヘッドホン

・・・ イヤホン/ヘッドホンの接続

●本製品はφ3.5mmステレオミニプラグに対応しております。
●お好みのイヤホン/ヘッドホンを接続して使用してください。

5 基本操作

・・・ 電源のオン/オフ

●電源オン（電源を入れる）
電源オフの状態からメインスイッチを約2秒間長押ししてください。電源オンになりスタンバイモードになります。
LEDインジケーターが2回青点滅します。
イヤホンからは「ピー」というビープ音が聞こえます。

ヒント　お買い求めいただいた直後や、リセット（または初期化）後など、レシーバーにペアリング履歴がない場合、電源オンするとペアリング待機モードになります。

●スタンバイモード
電源オンの状態です。
Bluetooth機器と接続が完了している場合と、未接続の場合でLEDインジケーターの表示が変わります。

●電源オフ（電源を切る）
電源オンの状態（スタンバイモード）からメインスイッチを約2秒間長押ししてください。
LEDインジケーターが3回赤点滅します。
イヤホンからは「ピー」という長いビープ音が聞こえます。

・・・ ボリューム（音量）の調節

●通話中もしくは音楽再生中、ワンセグ視聴中にボリュームを調節することができます。
●スタンバイモード中はボリューム調節できません。
※スタンバイモード中にUPボタンを2回押すと、ラストナンバーリダイヤル（→「6.携帯電話と接続した場合の操作」参照）になりますのでご注意ください。

●ボリューム（音量）を上げる
UPボタンを短く1回押してください。
1回押すごとにボリュームが1レベル上がります。
最大レベルの状態からUPボタンを短く1回押すと、イヤホンから「ピー」というビープ音が聞こえます。

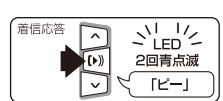
●ボリューム（音量）を下げる
DOWNボタンを短く1回押してください。
1回押すごとにボリュームが1レベル下がります。
最小レベルの状態からDOWNボタンを短く1回押すと、イヤホンから「ピー」というビープ音が聞こえます。

6 携帯電話と接続した場合の操作

・・・ 通話をする

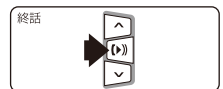
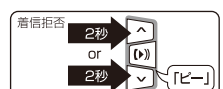
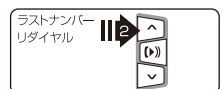
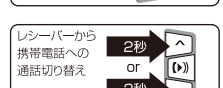
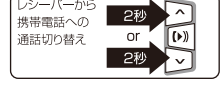
●着信

イヤホンから着信音が聞こえます。
LEDインジケーターは青が3箇所で順に点滅した後で1回赤点滅します。

●着信応答（電話を受ける）/通話
着信中にメインスイッチを短く1回押してください。
電話を受けることができます。
通話中はLEDインジケーターが約8秒間隔で青点滅します。

ヒント　レシーバーを使用した状態でも、携帯電話を通常操作（通話ボタンを押すなど）して電話を受けることもできます。（レシーバーで通話してください）

通話中　LED　約8秒間隔での青点滅

●終話（電話を切る）
通話中にメインスイッチを短く1回押してください。
電話を切ることができます。

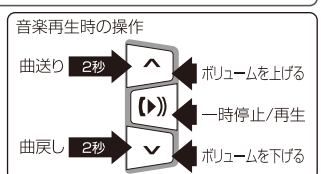
ヒント　レシーバーを使用した状態でも、携帯電話を通常操作（終話ボタンを押すなど）して電話を切ることもできます。

●着信拒否
着信中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒長押ししてください。
短いビープ音が聞こえて着信拒否することができます。

●ラストナンバーリダイヤルする
スタンバイモード中にUPボタンを短く2回押してください。
携帯電話から最後に発信した番号にダイヤルします。

●レシーバーから携帯電話への通話切り替え
通話中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒長押ししてください。
通話を携帯電話へ切り替えることができます。その後の通話及び操作（終話など）は携帯電話にて行ってください。

●携帯電話からレシーバーへの通話切り替え
携帯電話で通話中にメインスイッチを短く1回押してください。
通話をレシーバーへ切り替えることができます。

・・・ 携帯電話で音楽再生を楽しむ

●音楽再生を楽しむにはオーディオ（A2DP）での登録が必要となります。
●音楽の出力先としてイヤホン（ヘッドセット）を指定してください。

●音楽を再生する
スタンバイモードからメインスイッチを短く1回押すと、携帯電話のミュージックプレイヤーソフトウェアが立ち上がり、音楽の再生が始まります。

ヒント　携帯電話の機種によっては、ミュージックプレイヤーのソフトウェアが立ち上がらない機種もございます。その際は携帯電話を操作して音楽データを再生してください。

●一時停止/再生（一時停止解除）
音楽再生中にメインスイッチを短く1回押してください。音楽を一時停止します。
もう一度メインスイッチを短く1回押すと一時停止を解除して再生を開始します。

●曲送り（次の曲にする）
音楽再生中にUPボタンを約2秒間長押ししてください。次の曲に送ります。

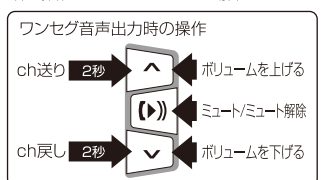
●曲戻し（再生中の曲の先頭に戻る）
音楽再生中にDOWNボタンを約2秒間長押ししてください。現在再生中の曲の先頭に戻します。

・・・ 携帯電話でワンセグを楽しむ

●ワンセグの音声出力を楽しむにはオーディオ（A2DP）での登録が必要となります。
●音声の出力先としてイヤホン（ヘッドセット）を指定してください。
※携帯電話の機種によっては、ch送り/ch戻しなど一部の操作がレシーバーでできない場合があります。

●ワンセグを視聴する
携帯電話を操作してワンセグ放送を受信/視聴してください。

●ch送り（次のチャンネルにする）
ワンセグ視聴中にUPボタンを約2秒間長押ししてください。チャンネルを1つ進めます。

●ch戻し（前のチャンネルにする）
ワンセグ視聴中にDOWNボタンを約2秒間長押ししてください。チャンネルを1つ戻します。

●ミュート/ミュート解除
ワンセグ視聴中にメインスイッチを短く1回押してください。音声を一時的に消音します。
もう一度メインスイッチを短く1回押すとミュートを解除して音声出力を開始します。
※一部の機種では機能しない場合があります。

※LEDインジケーター表示は通常の着信/通話時と同じです。

●音楽再生中の着信応答（電話を受ける）/通話
着信があるとイヤホンから着信音が聞こえます。
着信中にメインスイッチを短く1回押してください。電話を受けることができます。

●終話（電話を切る）
通話中にメインスイッチを短く1回押してください。電話を切って音楽再生/ワンセグ視聴を再開します。
※一部の機種では音楽再生/ワンセグ視聴に戻らない場合があります。携帯電話を操作して音楽再生/ワンセグ視聴を再開してください。

7 その他の便利な機能

･･･ リセット/初期化

●リセット(ペアリング解除)

ペアリング履歴を消去する方法です。すべてのペアリングが解除されます。
①UPボタンを押しながら、USB充電ケーブルを接続して充電を始めてください。
②LEDインジケーターが青点灯したことを確認してからUPボタンを離してください。
③LEDインジケーターが赤点灯して充電状態(電源オフ)になればリセット完了です。

●初期化

ペアリング履歴などを初期化して、出荷時の状態に戻す方法です。下記のモバイルアラート機能など、購入後に設定された機能がすべて出荷時の設定に戻ります。
①UPボタンを押しながら、USB充電ケーブルを接続して充電を始めてください。
②LEDインジケーターが青点灯したことを確認してからUPボタンを離してください。
③再び(8秒以内に)UPボタンを長押ししてください。
④LEDインジケーターが3回青点滅したのを確認してボタンを離してください。
⑤LEDインジケーターが赤点灯して充電状態(電源オフ)になれば初期化完了です。

･･･ リンク切断お知らせ機能

●ペアリングされた携帯電話がレシーバーの通信範囲外(約10m)に離れた場合に、本製品から短いビープ音が3回聞こえて、LEDインジケーターが約5秒間隔で赤点滅します。

携帯電話の置き忘れを予防する機能です。
ペアリングされた携帯電話がレシーバーの通信範囲外(約10m)に離れた場合に、本製品から警告音を鳴らします。
この機能は、初期設定ではオフです。
※標準機能として備わっている上記「リンク切断お知らせ機能」をさらに強化したものです。

●モバイルアラート機能をオンにする

①スタンバイモードで、UPボタンとDOWNボタンを同時に約2秒長押ししてください。
②短いビープ音が2回聞こえたらボタンを離してください。
③モバイルアラート機能がオンに設定されました。

●モバイルアラート機能をオフにする

①スタンバイモードで、UPボタンとDOWNボタンを同時に約2秒長押ししてください。
②短いビープ音が1回聞こえたらボタンを離してください。
③モバイルアラート機能がオフに設定されました。

●モバイルアラート機能の作動

ペアリングされた携帯電話が通信範囲外(約10m)に離れた場合に、イヤホンからビープ音が断続的に約20回鳴ります。
本製品からもブザー音が鳴ります。
メインスイッチを短く1回押すとビープ音とブザー音は止まります。

･･･ ブザー音コントロール機能　初期設定/タイプA

着信時などにイヤホンだけでなく、レシーバー本体から直接聞こえるブザー音の音種を選択できる機能です。
この機能は、初期設定では「タイプA」です。

●ブザー音を選ぶ

①スタンバイモードで、UPボタンまたはDOWNボタンを約5秒長押ししてください。
②短いビープ音が1回聞こえたらボタンを離してください。
③LEDインジケーターが青と赤で交互点滅しながら、無音を含む4タイプのブザー音が順番に鳴ります。

タイプA･･･「ピー、ピー、ピー、ピー、、、」
タイプB･･･無音
タイプC･･･「ピー、ピー、、、」
タイプD･･･「ピピピ、、、ピピ、、、」
タイプAに戻ります

④お好みのブザー音の時にUPボタンまたはDOWNボタンを短く1回押してください。
⑤長いビープ音が聞こえてブザー音の設定が完了し、スタンバイモードに戻ります。

※ブザー音を変更せず、③の時点で設定を中止する場合は、UPボタンまたはDOWNボタンを約2秒長押ししてください。ブザー音を変更せずにスタンバイモードに戻ります。

8 製品仕様

項目	仕様	備考
Bluetooth仕様	Version 2.1 +EDR Class2	
Bluetooth対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP(SCMS-T対応)、AVRCP	
周波数	2.4 GHz スペクトラム	
使用可能距離	見通し 10 m	
電池形式･容量	リチウムポリマー電池 3.7V、155mAh	
充電時間	約 3 時間	
通話時間	最大約 5.5 時間	※1
音楽再生/ワンセグ音出力時間	最大約 5.5 時間	※1
スタンバイ時間	最大約 150 時間	※1
製品寸法	H 44 × W 20 × D 24 mm	
製品重量	約 15 g	
アラーム音	あり	
充電ポート	あり	
接続機器表示名	Sinc BT300	※2
パスキーコード	0000 (工場設定)	※3

※1　使用状況、携帯電話の機種、使用環境、動作条件などによって変わります。
※2　接続機器表示名は、携帯電話や他のBluetooth機器でサーチ(検索)された際に表示される名称です。
※3　パスキーコードは、携帯電話とペアリングする際に必要となります。

9 トラブルシューティング

●故障かな?と思ったときは、修理に出す前に、本取扱説明書をもう一度お読みになり、操作に誤りがないかお確かめください。また、次の項目をご確認ください。

症状や疑問点	確認していただくこと
電源がオンにならない	レシーバーの充電池が充分に充電されていない可能性があります。充分に充電してから、再度試してください。
	メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。約2秒間メインスイッチを押しっぱなしにしてください。
電源をオンにすると青と赤の交互点滅になる	レシーバーにペアリング履歴がない状態(お買い求め直後や、リセット/初期化直後の状態)では、電源をオンにすると、自動的にペアリング待機モードになります。
電源がオフにならない	メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。約2秒間メインスイッチを押しっぱなしにしてください。
ペアリング待機モードにならない	電源スイッチがオンになっているか、メインスイッチを押す時間が短い可能性があります。電源をオフにしてから、約8秒間メインスイッチを押しっぱなしにしてください。
ペアリングができない	レシーバーのペアリング待機モード(青と赤の交互点滅)が終わらないうちに、携帯電話での周辺機器サーチを完了してください。
	レシーバーの充電池残量が少ない状態では、ペアリングが成功しにくい場合があります。充分に充電してから、再度試してください。
	周りの電波が強い場所では正常に接続できない場合があります。別の場所で再度試してください。
	携帯電話が不適合であったりペアリング手順が間違っている可能性があります。適合表とペアリング手順をもう一度ご確認いただき、可能であれば他の携帯電話(適合機種)で一度ペアリングをお試しください。
パスキーがわからない	本製品のパスキーは「0000」です。
通話、受信ができない	レシーバー及び携帯電話の電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。
	携帯電話とペアリングまたは接続が出来ていない可能性があります。ペアリングが正常に行われているか、ハンズフリー機器として接続が認識されているかを確認してください。
	着信中にメインスイッチを約2秒以上長押ししてしまうと、電源がオフになってしまいます。通話を受けるには1回押してすぐに離してください。
通話中にノイズが聞こえる 通話中に音がとぎれる	本製品を含むBluetooth機器同士で通話すると、通話開始時に音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
	携帯電話の電波状態が悪い可能性があります。携帯電話の画面で、電波レベルを確認してください。また、携帯電話の電波が混線しやすい環境下や、携帯電話のつながりにくい環境下では、本製品の使用の有無に関わらず通話品質が落ちる場合があります。
	携帯電話機の音声レベルは機種によって異なります。機種によっては元々音声レベルが高かったり、音声出力が小さいなど、ノイズや自分の声が聞こえやすい機種があります。(パナソニック製の一部機種など)
	携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
	携帯電話をズボンの後ろポケットなどに収納している場合など、携帯電話とレシーバーとの間に身体を挟むとノイズの原因となる場合があります。
音が聞こえない 着信音が聞こえない	イヤホン/ヘッドホンが確実に接続されているかご確認ください。また、イヤホン/ヘッドホンのコードが断線していないかご確認ください。
	レシーバーの電源がオフになっている可能性があります。電源をオンにしてください。
	携帯電話とペアリングまたは接続が出来ていない可能性があります。ペアリングが正常に行われているか、ハンズフリー機器として接続が認識されているかを確認してください。
	音量が小さくなっている可能性があります。レシーバーのボリューム(音量)を調節してください。
	携帯電話を操作して発信ダイヤルをすると、携帯電話側でしか通話ができません。メインスイッチを短く1回押して、ヘッドセットに通話を切り替えてください。
	通話中にUPボタンまたはDOWNボタンを約2秒間長押ししてしまうと、通話が携帯電話に切り替わり、ヘッドセットから音声が聞こえなくなります。その後の通話及び操作は携帯電話で行ってください。
	携帯電話と通信障害が起きている可能性があります。携帯電話との距離が離れすぎていないか、携帯電話との間に電波を遮断するような物や、電気機器などがないか確認してください。
	HFP(ハンズフリープロファイル)、A2DP(高度オーディオ配信プロファイル)のプロファイルが携帯電話で認識されているか、再接続してご確認ください。
イヤホンから断続的にビープ音が聞こえる	レシーバーの電源をオンにしたとき、充電池に充分な容量が残っていないと、スピーカーから約1分間隔でビープ音が聞こえます。このような場合は、お早めに本製品の充電を行ってください。
本製品から発信ダイヤルできない	レシーバーの操作だけの発信ダイヤルは、ラストナンバーリダイヤル(一番最後に発信した番号へのリダイヤル)のみとなります。指定の番号にダイヤルしたい場合は、携帯電話を操作して発信ダイヤルし、その後、レシーバーに通話を切り替えてください。
本製品からリダイヤルできない	HFP(ハンズフリープロファイル)が使用できない携帯電話では、レシーバーからのラストナンバーリダイヤルはできません。携帯電話の発信履歴などから通常操作してダイヤルしてください。
ペアリング後に電源を再投入すると自動認識されない	携帯電話の機種やバージョンによっては自動認識されず、携帯電話側でBluetooth機器の接続設定を必要としたり、再度ペアリングが必要となる場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
	レシーバーをペアリング後、長期間使用していなかった場合は、自動認識されない場合があります。ご使用になる前に携帯電話の接続機器リストより本製品を設定しなおしてください(※ペアリングではありません)。それでも接続できないときは、レシーバーを一度リセットし、再度ペアリングを行ってください。
使用中に電源が切れる	頻繁に切れるようであれば、レシーバーを一度初期化し、再度ペアリングを行ってください。
使用可能時間が短くなってきた	内蔵充電池は消耗品です。長期間の使用により、通話時間/スタンバイ時間の短縮が起こることがあります。充分に充電した状態で、通話/スタンバイ時間が著しく短くなってきたり、ご使用できなくなった場合は、充電池の寿命です。充電池の交換はできませんので、新しい製品をご購入ください。
ワンセグの音声や音楽が聞こえない	音楽/音声の出力先がイヤホンに設定されていない可能性があります。携帯電話の取扱説明書をご確認いただき、音楽/音声の出力先をイヤホン(ヘッドセット)に変更してください。
	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
音楽がモノラルのような低音質で再生される	プロファイルがHSP(ヘッドセットプロファイル)で接続されている可能性があります。お使いのBluetooth機器がA2DPをサポートしていて、A2DPで接続されているか確認してください。
カーナビと接続したい	本製品はカーナビにはご使用できません。
充電ソケットキャップが破損した	充電ソケットキャップは保証対象外の消耗品です。保証期間内であっても、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。
USBケーブルが破損･紛失した	保証期間内の製品的な不具合は修理、交換いたします。保証期間外や、取扱い不注意による破損、紛失の場合、修理、交換、代替え品の提供などはできませんのでご了承ください。
マルチポイント接続ができない	本製品はマルチポイント接続が可能ですが、一部制約があります。au及びノキア製携帯電話同士は同時にペアリングできません。また、au及びノキア製携帯電話をマルチポイントにてペアリングする場合は、必ず2台目に登録し、1台目に登録した携帯電話と再接続をしてください。
	マルチポイント接続は2台までです。3台目の接続はできません。
マルチポイント接続でA2DPがうまく機能しない	A2DPでの接続は1台の携帯電話に限られます。2台の携帯電話をA2DPで接続しても、はじめに接続した1台でしかA2DPが機能しません。
	音楽/音声の出力先がイヤホンに設定されていない可能性があります。携帯電話の取扱説明書をご確認いただき、音楽/音声の出力先をイヤホン(ヘッドセット)に変更してください。
	ハンズフリーの他に、A2DPもしくはオーディオでの接続がされているかご確認ください。詳しい接続方法は携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

※接続するBluetooth機器の取扱説明書も必ずご確認ください。